

# リコール技術検証業務の現状と 新たな取り組み

リコール技術検証部長 堀江暢俊

# 本日のプレゼンテーションの内容

---

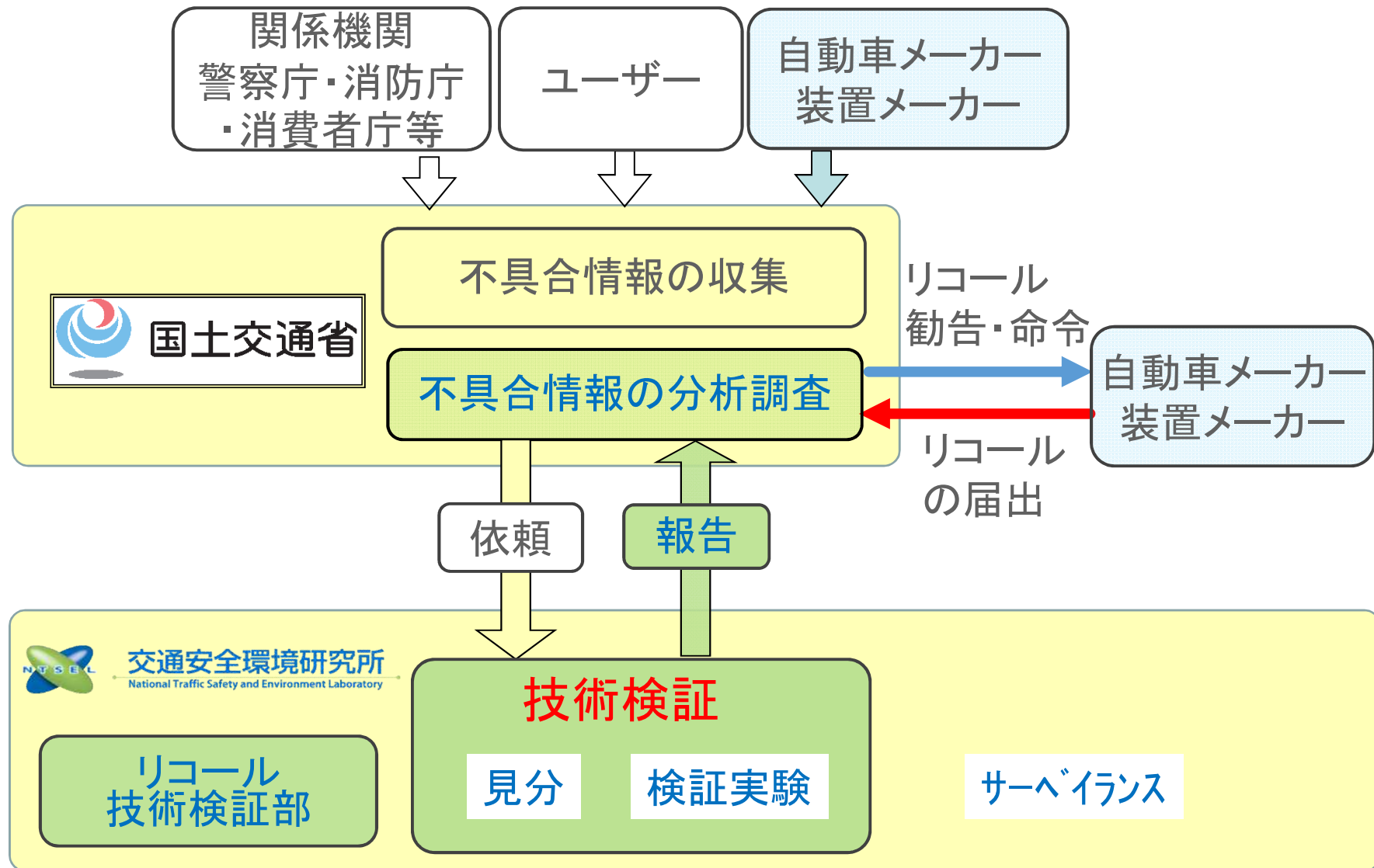
1. リコール技術検証業務について
2. 新たな取り組みについて
  - ①. 新しい情報収集ルートの構築
  - ②. 先進技術への対応

# 本日のプレゼンテーションの内容

---

1. リコール技術検証業務について
2. 新たな取り組みについて
  - ①. 新しい情報収集ルートの構築
  - ②. 先進技術への対応

# リコール技術検証部の概要 業務の流れ



# リコール技術検証業務

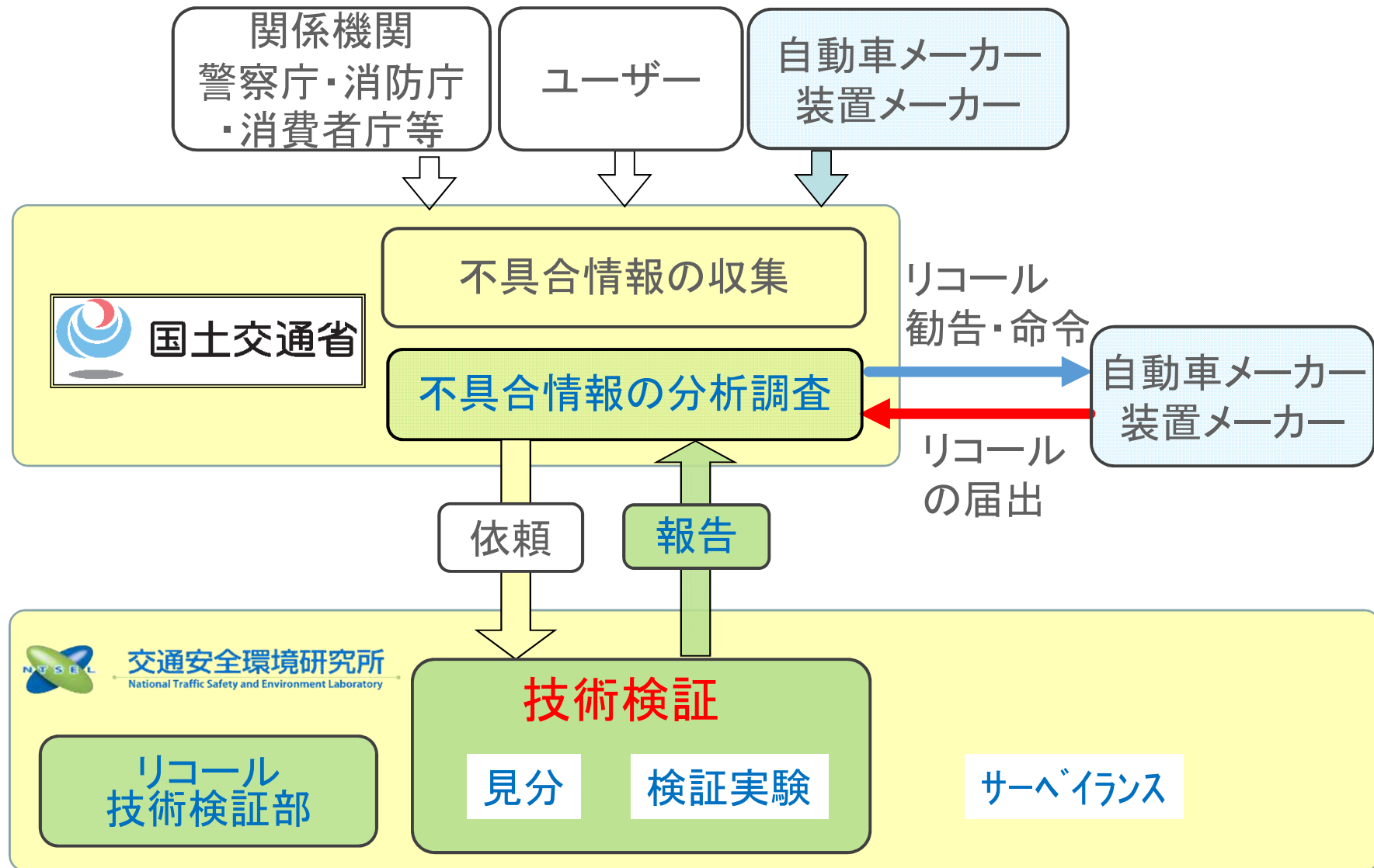
## 不具合情報件数(平成30年度)

情報提供元	不具合情報件数
メーカー※1	5,010
ユーザー※2	3,313
その他(警察、消防、消費者庁等)	699
計	9,022

※1 事故・火災情報はH30.1～12、その他はH30.4～H31.3の件数

※2 (独)自動車技術総合機構からの検査時の不具合情報を含む。

# リコール技術検証部の概要 業務の流れ

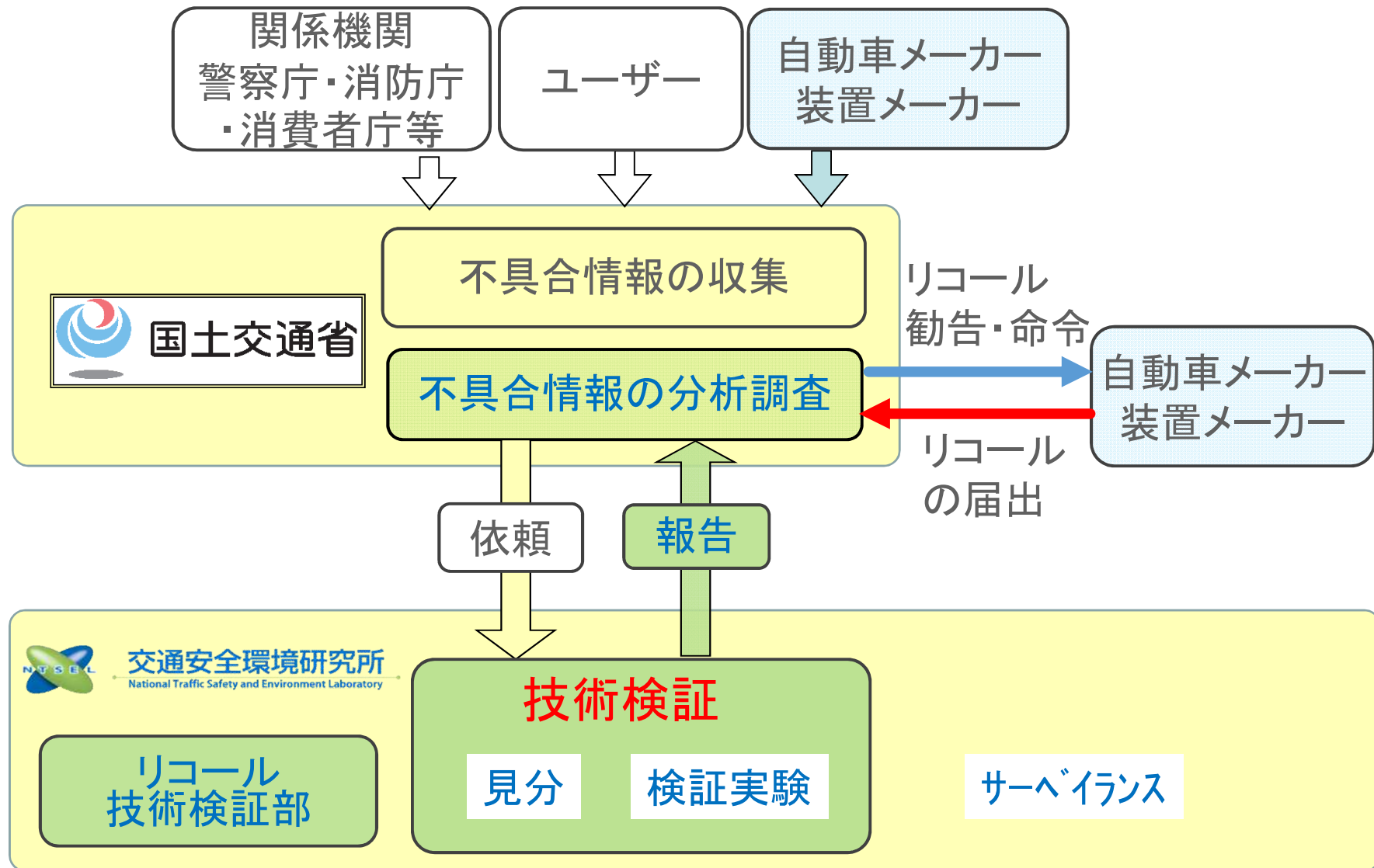


# リコール技術検証業務

## 技術検証事案件数及び市場措置件数の推移

年 度		H26	H27	H28	H29	H30
技術検証開始事案件数		201	168	85	133	200
技術検証終了事案数		204	172	112	96	97
技術 検証 結果	市場措置につな がった件数	17	18	24	19	12
	・リコール	15	14	21	18	11
	・改善対策	0	1	0	0	1

# リコール技術検証部の概要 業務の流れ





# リコール技術検証業務

## 技術検証事案件数及び市場措置件数の推移

年 度		H26	H27	H28	H29	H30
技術検証開始事案件数		201	168	85	133	200
技術検証終了事案数		204	172	112	96	97
技術 検証 結果	市場措置につな がった件数	17	18	24	19	12
	・リコール	15	14	21	18	11
	・改善対策	0	1	0	0	1

# リコール技術検証業務 リコール届出分析

## リコール届出件数及び対象台数の推移

年 度	H25	H26	H27	H28	H29
届出件数	303 (295)	355 (333)	368 (319)	364 (319)	377 (357)
対象台数 (万台)	798 (724)	956 (736)	1,900 (944)	1,585 (963)	770 (684)

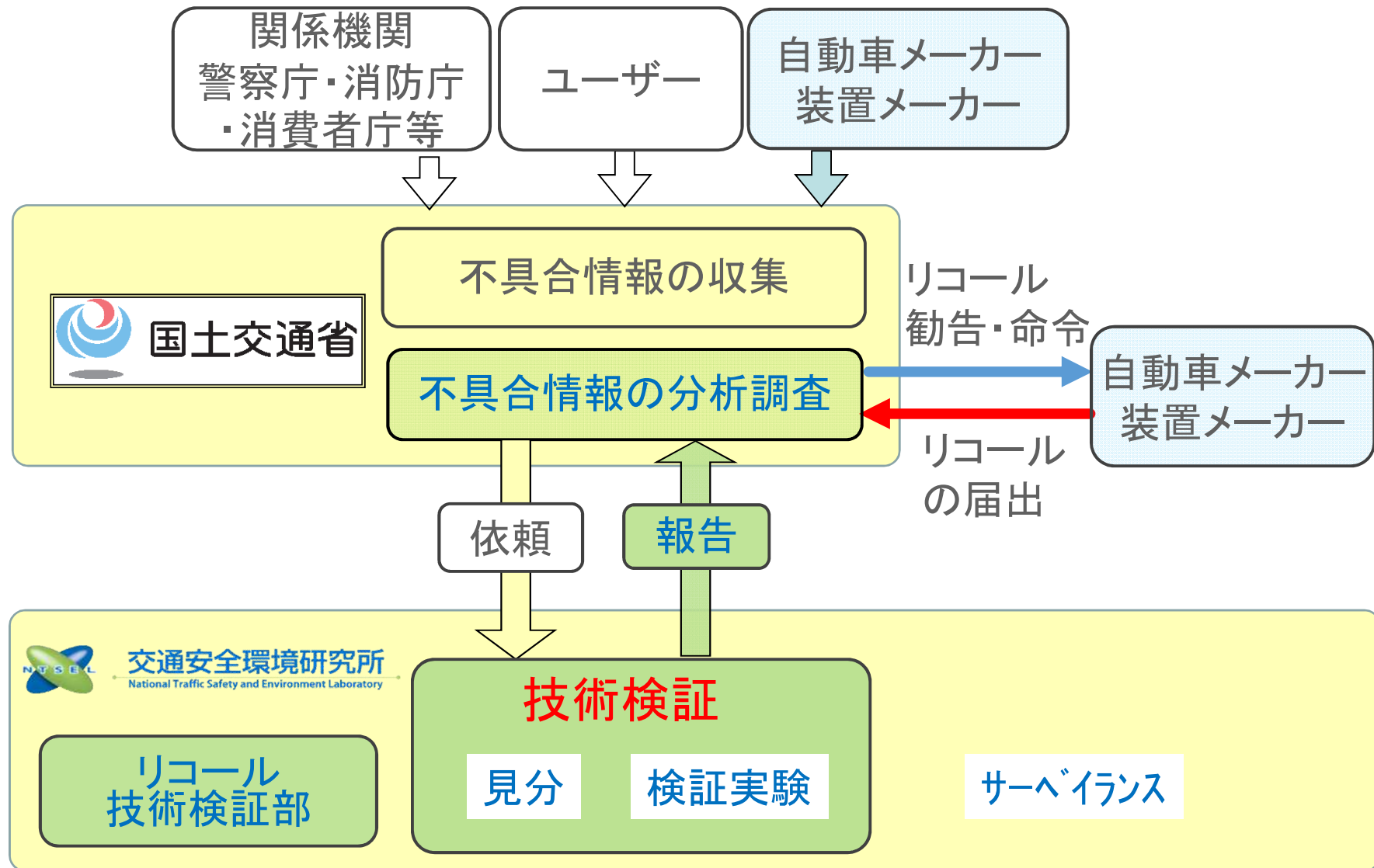
※( )内:タカタ製エアバックのリコール届出を除いた件数

## 不具合発生の初報告日からリコール届出までの平均月数の推移

年 度	H25	H26	H27	H28	H29
平均月数	14.0	14.4	15.3	17.0	15.6

出典:国土交通省「平成29年度リコール届出の分析結果について」

# リコール技術検証部の概要 業務の流れ



# 車両調査

## 1. 車両見分への積極的な参画

年度	H26	H27	H28	H29	H30
事故	19	12	21	15	20
火災	28	44	44	54	56
合計	47	56	65	69	76

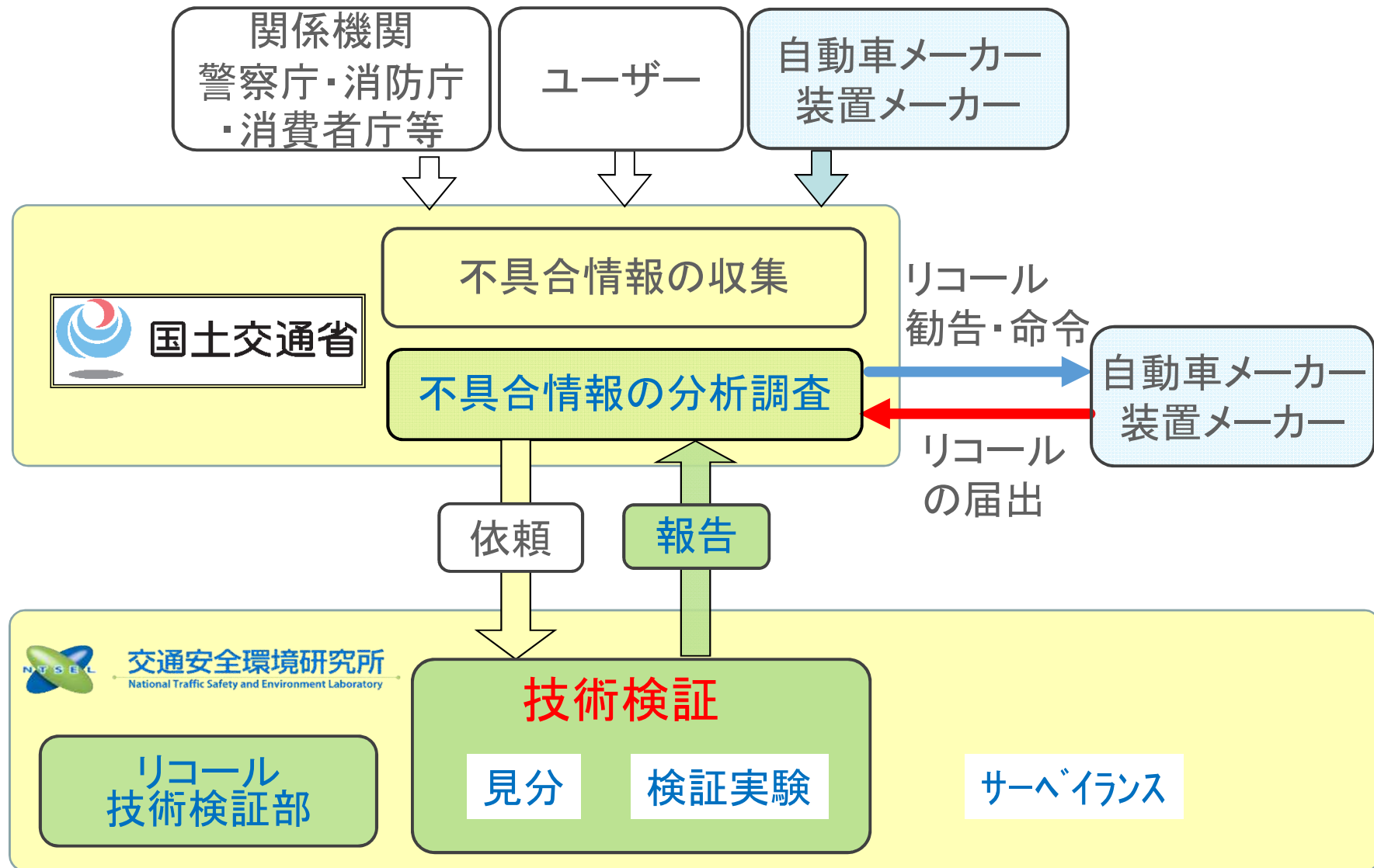


## 2. フィールド調査の実施

- ・当部自ら自動車ユーザーの下に出向き、使用過程の車両を調査するとともに、使用実態の聴き取りを実施。
- ・平成28年度から開始しており、当該調査を通じてリコール届出に繋がっている。



# リコール技術検証部の概要 業務の流れ



# 技術検証実験

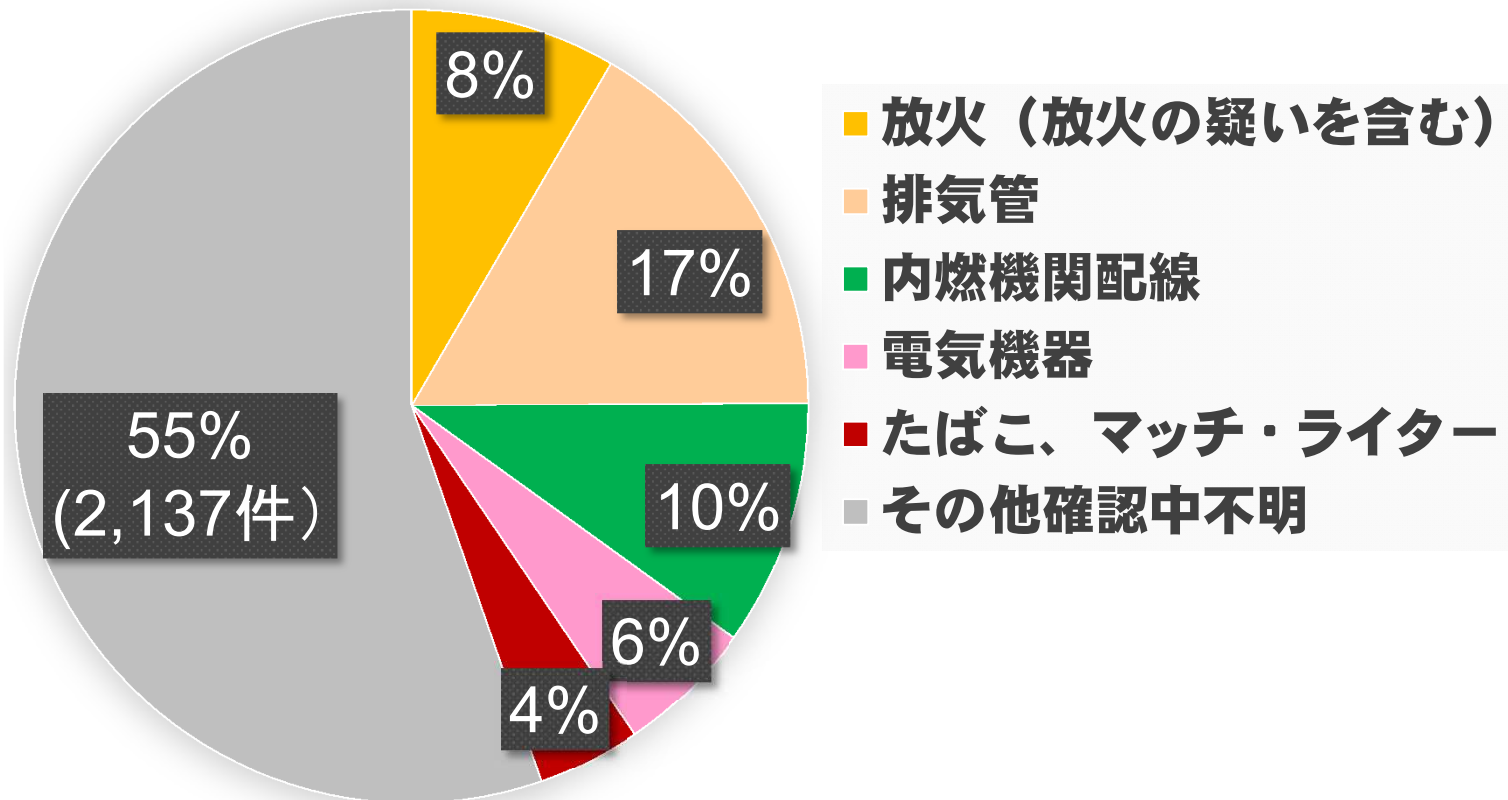
## 実験テーマ数の推移

年度		H26	H27	H28	H29	H30
実験テーマ数		11	11	10	13	10
内訳	個別事案の検証	8	7	3	1	3
	知見の蓄積	3	4	7	12	7
	うち、火災関係	0	3	3	4	3

# 火災に関する実証実験

車両火災は年間約3,800件程度発生しているものの、原因が判明していない事案が約6割と非常に多い状況

## 車両火災の主な出火原因(平成29年)



出典：平成30年総務省「消防白書」

# 火災に関する実証実験

## 1. 車両火災に係る基礎実験(実施中)

- ・各種オイル(エンジン、トランスミッション、パワステ、ブレーキ)の燃焼実験
- ・樹脂の延焼実験
- ・ハーネス被覆の燃焼実験  
(発火条件、燃焼条件 等)



(バッテリーショート通電後煙発生)



(煙発生後発火)

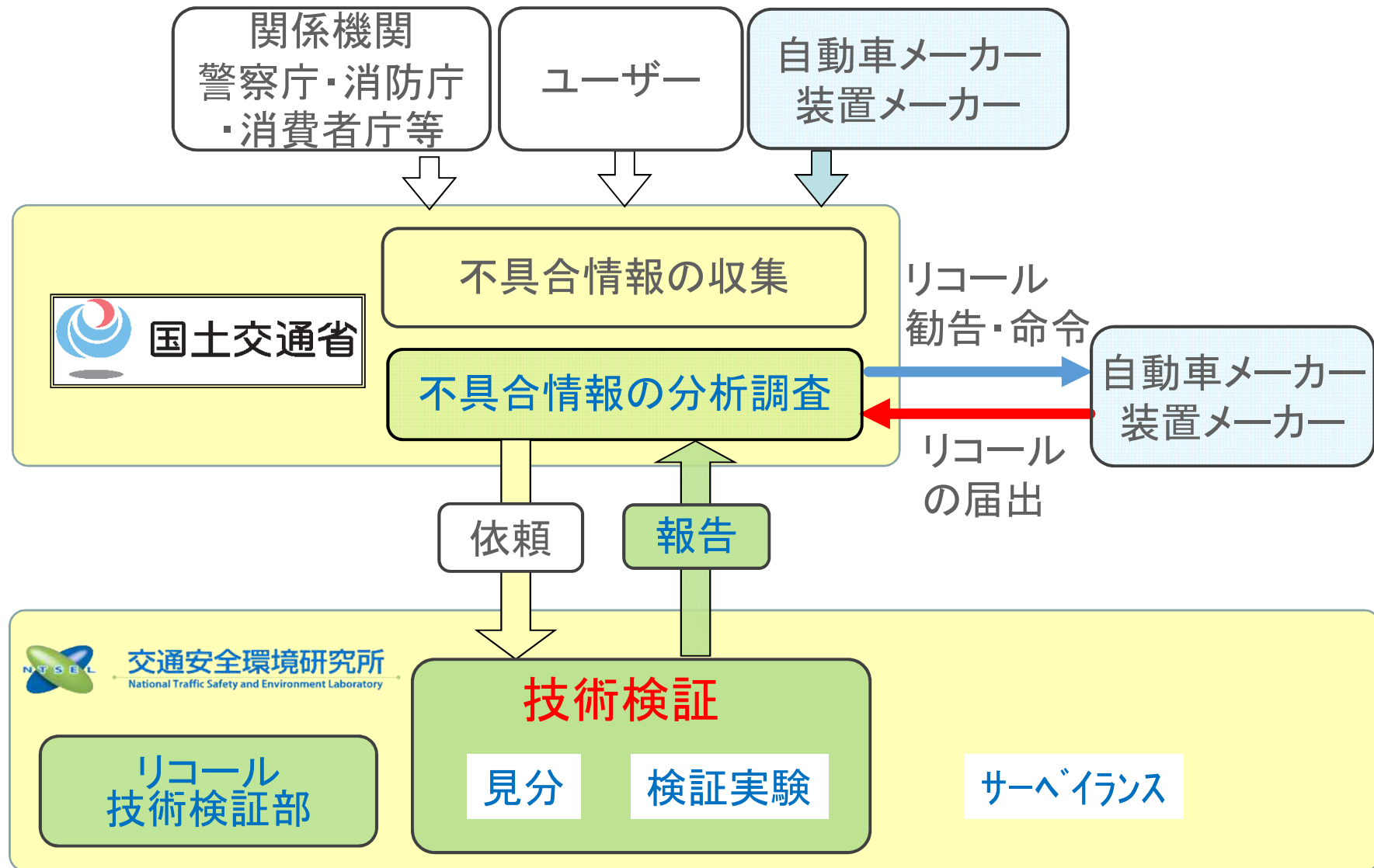
## 2. 車両火災の実大実験(計画中)

(テーマ案)エンジン停止し、時間経過後発火する事案

消防研究センターと共同で実験を実施予定



# リコール技術検証部の概要 業務の流れ



# 排出ガス不正ソフトに係るサーベイランス

## 背景

・VWが欧米等において不正ソフトを組み込んで排出ガス規制をクリアしていたことが判明。認証試験時に排出ガス低減装置を働かせる一方、実際の路上走行時には働かせないようにする不正ソフトが搭載されていた。

## 対策

- ・認証試験の際に路上走行時の排出ガス試験を平成34年から導入
- ・排出ガス不正ソフトに係るサーベイランスを平成29年度から実施

## 不正ソフトの具体例

- ・排出ガス試験時特有の事象を基に試験中かどうかを検知して作動するもの
- ・排出ガス試験を行う場所にあるかどうかを検知して作動するもの
- ・排出ガス試験の所要時間と関連する時間の経過を検知して作動するもの

# 排出ガス不正ソフトに係るサーベイランス

以上の様な不正制御を防止するために、PEMSを用いた試験の実施  
《従来のシャシーダイナモ測定と路上走行等との乖離を分析》

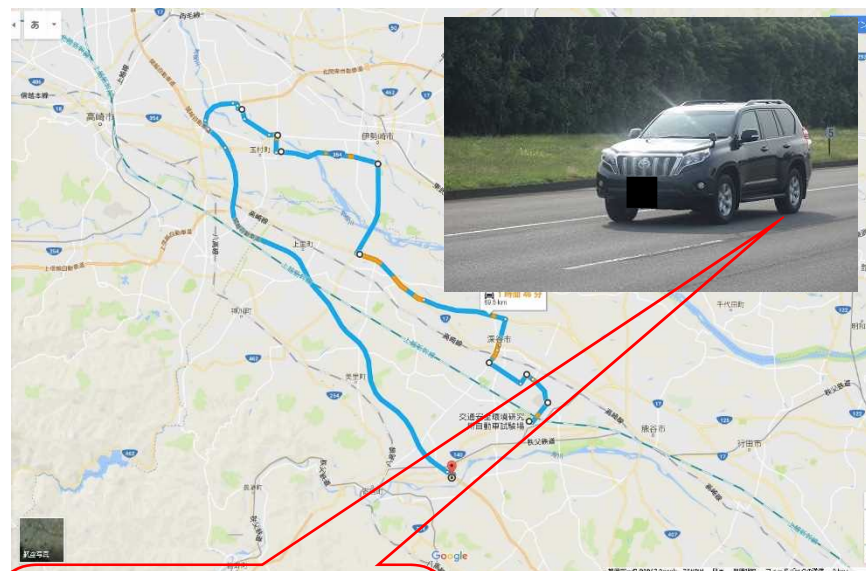
シャシーダイナモ

乖離の分析

路上走行



据え置き型



PEMS

# 本日のプレゼンテーションの内容

---

1. リコール技術検証業務について
2. 新たな取り組みについて
  - ①. 新しい情報収集ルートの構築
  - ②. 先進技術への対応

# リコール技術検証部に求められている役割と取組状況

- (役割1) 不具合車両の**早期発見・早期改善**のサポート  
～自動車ユーザー目線でのチェック～  
～自動車メーカーによる早期改善措置の促進～
- (役割2) 自動車ユーザーへの注意喚起  
～自動車・装置に対するユーザーの理解度向上～

## 【新たな取り組み】

### ①. 不具合情報の収集・分析の向上

- ・新たな不具合情報収集ルートの構築
- ・不具合情報の分析強化
- ・諸外国との連携強化

### ②. 先進技術への対応

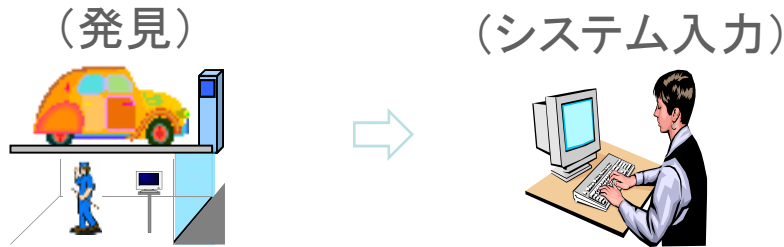
- ・ASV技術の性能把握
- ・車両データの活用

# ①. 新しい情報収集ルート構築

## 1. 登録車の検査情報の活用(H29年度～)

(独)自動車技術総合機構 検査部門

検査時に設計・製作に起因する疑いのある不具合情報を抽出しシステム入力



## 3. 定期点検記録簿情報の活用(H30年度～)

国土交通省 運輸支局等

定期点検整備記録簿

点検整備記録簿を  
スキャナー取り込み



<分析開始>

## 2. 軽自動車の検査情報の活用(H30年度～)

軽自動車検査協会

検査時の不適合情報

## 4. 諸外国との連携(H30年度～)

ドイツ:KBA





・ドイツ市場での不具合の  
発生状況とメーカー対応  
についての情報提供

Kraftfahrt-  
Bundesamt



# ①. 新しい情報収集ルート of 構築

(    枠のデータを新規に入手)

届 出 	不具合発生時 (故障含む) 	事故・火災時 	点検・車検時の 不具合・不適合時 
ユーザー	○	○	—
整備業者	○	—	★
ディーラー	★ (監査情報)	★ (監査情報)	★
メーカー	○ (特定項目のみ)	○	—
検査場	—	—	★
警察・消防	—	○	—

市場で発生する不具合情報について、網羅的に収集できる体制を構築した

# 本日のプレゼンテーションの内容

---

1. リコール技術検証業務について
2. 新たな取り組みについて
  - ①. 新しい情報収集ルートの構築
  - ②. 先進技術への対応



## ②. 先進技術への対応

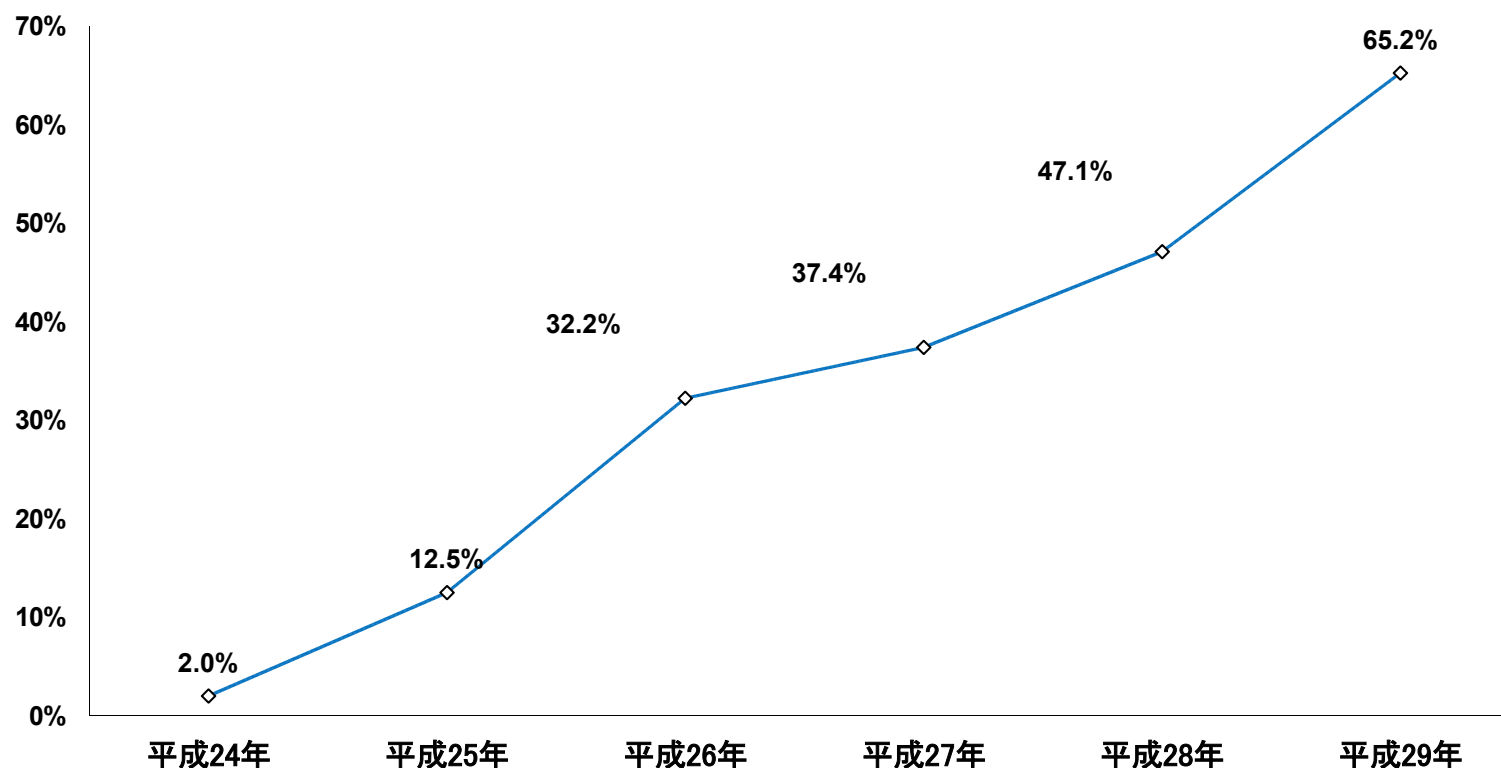
実験項目	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (H31/R1年度)
衝突被害軽減ブレーキの機能限界調査		<p>国土交通省HPに、ビデオで紹介「衝突被害軽減ブレーキは万能ではありません。」</p> <p>実施済み</p>	
ペダル踏み間違い時加速抑制装置及び衝突被害軽減ブレーキの不作動に関する調査		<p>国土交通省HPに、ビデオで紹介「誤発進抑制装置の正しい認識。」</p> <p>実施済み</p>	
全車速追従型クルーズコントロール＋車線維持支援装置使用上の注意に関する調査			<p>実施中</p>

# 先進安全自動車に関する実証実験 ユーザーへの注意喚起

ペダル踏み間違い時加速抑制装置が近年急速に普及しているが、ユーザーが技術を誤認していると思われる情報が増加。

新車搭載台数(平成29年) 2,637,227台 (生産台数の65.2%)

ペダル踏み間違い時加速抑制装置の新車搭載率



出典:国土交通省

# 国土交通省報道発表資料（平成31年4月）

## 「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」(抜粋)

